

課 題	寒 切 り 材 の 生 産 に つ い て					
継続・新規別	継 続	担	作 業 課	開発	矢 部 営 林 署	昭和 63 年度 ～
指示・自主別	指 示	当		箇所	人 吉 営 林 署	平成 元 年度

I 目 的

良質材の生産と、安定供給を図る。

木材の伐採は、樹液の流動が少ない時期が最適とされている。

寒の厳しい時期に伐採した材は、梅雨期になっても樹皮が剥げず、虫がつかないという長所がある。

例年木材の出荷量が減少する、5～6月に国有林材の出荷を希望する声もあるので、寒切り材の生産によって良質材の生産と安定供給に資するものである。

II 実施要領

1. 生産方法

- (1) 対 象 樹 種 スギ、ヒノキ
- (2) 伐 倒 時 期 11月中旬～1月中旬（厳寒期は凍結により乾燥しないので避ける）
- (3) 伐 倒 方 法 斜め上方及び横向きに伐倒し枝払いは実態に応じて行う。
- (4) 生産販売時期 材の状況及び需要動向等に応じて適切な時期を選定する。

2. 実行形態

- (1) 直 よ う
- (2) 請 負 伐倒工程を契約し、伐倒越として次年度に集材工程以降の契約を行う。

3. 販売方法

一般公売、若しくは販売委託とする。寒切り材としての銘柄化を図るため、葉枯らし材とともに業界と連携を図りながらPR等に努めることとする。

Ⅲ 実行結果

(1) 寒切り材の生産量

区分 直請別	矢 部			人 吉		
	6 3	元	計	6 3	元	計
直 よ う	0	0	0	8 2 0	8 1 3	1, 6 3 3
請 負	3 0 4	3 4 6	6 5 0	3 9 8	5 3 8	9 3 6
計	3 0 4	3 4 6	6 5 0	1, 2 1 8	1, 3 5 1	2, 5 6 9

(2) 水分含有率調査

① 矢部大官山国有林 13 い林小班 スギ

ア、~~伐~~倒時期 63. 12. 27
 イ、乾燥期間 12. 27 ~ 3. 27
 ウ、伐倒方向 上向き、横向き、下向き
 エ、枝 払 い 枝付き率 100%

プロット 伐倒方向 調査日	1			2			3		
	上	横	下	上	横	下	上	横	下
63. 12. 27	126%	120	122	127	118	120	130	126	123
元. 1. 6	96	94	103	98	91	108	102	105	109
1. 17	68	65	75	72	70	79	71	70	78
1. 27	46	42	55	49	52	55	49	48	57
2. 6	42	39	44	41	40	46	38	39	50
2. 16	33	32	42	34	35	42	32	34	45
2. 27	32	30	41	31	33	40	31	32	43
3. 9	31	28	39	30	31	38	29	29	41
3. 17	29	26	38	28	29	36	26	27	39

② 矢部大官山国有林 13 い林小班 ヒノキ

ア、伐倒時期 63. 12. 26
 イ、乾燥期間 12. 26 ~ 3. 17
 ウ、伐倒方向 上向き、横向き、下向き
 エ、枝 払 い 枝付き率 100%

プロット 伐倒方向 調査日	1			2			3		
	上	横	下	上	横	下	上	横	下
63. 12. 27	125.8	114	112	108	105	109	118	121	108
元. 1. 6	92	93	99	91	86	92	89	96	92
1. 17	72	68	81	69	73	80	69	71	85
1. 27	45	42	50	39	41	55	38	40	55
2. 6	37	36	45	37	38	48	36	37	48
2. 16	36	34	44	35	35	46	34	34	45
2. 27	32	32	40	34	34	42	32	30	42
3. 9	30	31	38	32	33	40	31	28	39
3. 17	29	28	37	31	32	38	27	25	36

③ 人吉 高仁田国有林 8 林班い小班

出水大川内筋国有林 4 3 林班る小班 スギ

ア、伐倒時期 63. 1. 25

イ、乾燥期間 1. 25 ~ 4. 25

ウ、伐倒方向 上向き、横向き、下向き

エ、枝払い 枝付き率 100%

プロット	伐倒時	1 カ月後	2 カ月後	3 カ月後
1	140.2%	53.4	36.6	31.3
2	138.1	70.7	23.1	24.3
3	146.1	68.7	34.3	36.3
4	151.9	68.6	30.9	28.5
5	145.1	69.9	37.8	39.7
計	144.3	66.3	32.5	32.0

④ 人吉 高仁田国有林 8 林班い小班 ヒノキ

ア、伐倒時期 63. 1. 25

イ、乾燥期間 1. 25 ~ 4. 25

ウ、伐倒方向 上向き、横向き、下向き

エ、枝払い 枝付き率 100%

プ ロ ッ ト	伐 倒 時	1 カ 月 後	2 カ 月 後	3 カ 月 後
1	1 2 9.3 %	6 6.5	2 5.4	2 6.2
2	1 2 2.3	5 8.8	2 4.1	2 2.0
3	1 3 0.5	6 8.7	2 9.5	2 7.4
4	1 2 8.3	6 0.4	3 5.7	3 2.3
5	1 3 3.2	5 7.2	3 6.2	3 4.7
計	1 2 8.7	6 2.3	3 0.2	2 8.5

含水率は、伐倒方向では、上向き、横向きが効果が大きくほぼ60日間位の期間までにスギ、ヒノキ共に含水率は下がらなくなる。

⑤ 矢部 大矢国有林6林班ほ小班

ア、伐倒時期 ^元
~~全~~ 1. 16

イ、乾燥期間 1. 16 ~ 3. 29

ウ、伐倒方向 上向き、横向き、下向き

エ、枝 払 い 枝付き率100%、50%、穂付き

調 査 日	枝付き率 伐倒方向			100%			50%			穂 付 き		
	上	横	下	上	横	下	上	横	下	上	横	下
2. 1. 16	115%	118	122	121	108	121	117	119	122			
1. 26	94	92	98	97	93	106	102	109	112			
2. 5	76	72	86	78	80	90	88	87	95			
2. 15	47	48	51	47	49	52	62	67	70			
2. 26	36	35	46	37	39	49	42	46	52			
3. 6	28	30	42	32	34	45	35	38	45			
3. 19	26	27	40	28	30	42	33	35	43			
3. 29	24	25	33	25	26	38	30	32	35			

含水率の枝付き率では、100%、50%が乾燥が早く穂付は遅い。

⑥ 製材品の水分含有率

樹 種	寒 切 り 材	生 材	備 考
ス ギ	22%	62%	生産完了から45日経過
ヒ ノ キ	23%	58%	"

製材製品の場合、寒切り材は収縮飽和点まで乾燥している。

(収縮飽和点25～30%)

(3) 材質調査 人 吉

① 人 吉

ア、材 色	山床	スギ、ヒノキとも良好
	土場	"
イ、樹 皮	土場	"
ウ、虫 害	山床	"
	土場	"

(4) 作業工程調査

① 矢部 集材工程

樹 種	寒 切 り 材				生 材				集材1回当り 吊 り 荷	
	吊 り 荷			集 材	吊 り 荷			集 材		
	回 数	本 数	材 積	距 離	回 数	本 数	材 積	距 離	寒切材	生 材
ス ギ	15	57	42.0	600	13	47	35.0	600	2.80	2.69
ヒノキ	21	100	29.0	300	18	45	24.0	300	1.38	1.33

集材1回当り吊り荷比較

$$\text{ス ギ} \quad \frac{2.80}{2.69} = 1.04$$

$$\text{ヒノキ} \quad \frac{1.38}{1.33} = 1.04$$

$$\text{平 均} = \frac{1.97}{1.90} = 1.04$$

② 人吉 集材工期

樹 種	寒 切 り 材			生 材		
	回 数	材 積	1 回 当	回 数	材 積	1 回 当
ス ギ	2 8 4	5 9 5	2.1 0	5 1	8 9	1.7 5
ヒ ノ キ	1 8	3 2	1.7 8	1 6	2 6	1.6 3

集材1回当り吊り荷比較

$$\text{ス ギ} \quad \frac{2.10}{1.75} = 1.20$$

$$\text{ヒノキ} \quad \frac{1.78}{1.63} = 1.09$$

$$\text{平 均} \quad \frac{2.08}{1.72} = 1.21$$

寒切り材集材工期は、生材に比較して集材回数、集材量、1回当り吊り荷も多い。回数、量は材が軽いため、盤台処理時間が、生材に比較して早く多くなるが、1回当り吊り荷量は、作業者の経験による目安量であって工期がアップしたことを証明できる因子は、把握できない。

③ トラック運材工期 人 吉

区分 樹種	寒 切 り 材		生 材	
	1 台 当 り	重 量	1 台 当 り	重 量
ス ギ	1 3,384 m ³	10.695t	1 2,566 m ³	13,205t
ヒ ノ キ	1 3,300	9,886	1 2,257	12,030

$$\text{1 回当り積載量} \quad \frac{13,384}{12,566} = 1.07 \quad \frac{13,300}{12,257} = 1.09$$

$$\text{重 量} \quad \frac{10.695}{13,205} = 0.81 \quad \frac{9,886}{12,030} = 0.82$$

トラック運材工期は、スギ、ヒノキともに、寒切り材の方が有利な工期になっている。

(5) 販売状況調査

人吉 銘柄別比較

樹種	長級	寒切り材				生材				比較	
		径級	品等	材積 (m^3)	販売単価 (A)(千円)	径級	品等	材積 (m^3)	販売単価 (B)(千円)	単価差 (A-B)	比率 (A)/(B)
スギ	3	14~18	並	0.233	24	14~18	並	0.679	23	1	104
	3.2	32~34	元	1.724	45	30~32	元	2.216	39	6	115
	3.2	36~38	元	0.877	46	36~38	元	2.584	36	10	128
	6	16~20	並	6.865	29	14~20	並	4.561	28	1	104
	6.2	34~38	元	4.072	43	32~36	元	2.284	32	11	134
	6.2	40	元	3.126	46	38	元	3.772	34	12	135
	平均				38				32	6	119
ヒノキ	3	14~22	元・並	4.712	73	14~18	元・並	0.507	58	16	127
	3	14~18	元・並	3.524	81	14~18	元・並	2.932	75	6	108
	1.3~3.2	30~32	元	0.923	222	30	元	0.576	213	9	104
	4	14~22	元・並	10.932	97	14~22	元・並	7.886	90	7	108
	4	24~28	元	4.394	183	24~28	元	1.314	168	15	109
	4	24~28	元	2.982	190	24~26	元	1.230	189	1	101
	6	16~20	元	2.318	174	14~18	元	3.417	102	72	171
	平均				123				105	18	117

販売比較については、寒切り材、生材を銘柄別に比較した結果、寒切り材が有利に販売できている。

(6) 製材製品の調査（人吉営林署）

① 営林署の評価

- ア、割れが少ない。
- イ、蒸れない。
- ウ、カビが付きにくい。
- エ、梅雨期も出荷できる。

② 買受者の評価

- ア、軽くて取扱が容易である。
- イ、保存がきき、在庫調整用として利用できる。
- ウ、乾燥しているため、すぐ販売できる。
- エ、狂いが少ない。
- オ、乾燥機の使用が一般材と比較して1.5日程度短縮できる。
- カ、価格差はないが信用が得られる。

課題名	炭切り材生産について			
指示区	自主分	指示	開発期間	363 364 へ転入
			担当	新潟県林業
目標	高品質材の生産と安定供給をはかる			
結果	1. 炭切り材の水分含有率の推移が得られた。 2. 集材作業工程の比較ができた。 3. 炭切り材の品質向上の結果と販売上の有利性が得られた。		技術開発経費内訳 <人工> 千円 物件費 役務費 人件費 基 礎 < > その他 < > 合 計	
開発経過と調査内容				
1. 開発経過 (1) 昭和62年度より炭切り材生産を始め、昭和63年度直ぐ2ヶ所、請負1ヶ所で1800㎡を実行、平成元年年度請負2ヶ所1ヶ所で800㎡を実行した。 2. 調査内容 (1) 炭切り材の水分含有率調査 (2) 集材作業工程調査				

①水分計 名称

(3) 炭切り材の水分含有率と品質調査

(4) 炭切り材と普通材との販売実績調査

課題及び普及指導

1. 炭切り材の水分含有率の推移による期間の目安と集材工程の向上、炭切り材の品質向上の結果が得られた。

様式2

技術開発実施報告・計画

課題	暑期の林生産の向上		継続・ ☒ 新設	担当	事業課	開発 箇所	矢部多林署
目的	高品質林の生産と安定供給を高める。		☒ 指示 ☐ 自主				
開発期間			5/27年度 ~ 平成元年度				
年度別実施経過	元年度 実施報告	年度 実施計画	備考 (評価及び普及計画等)				
	1. 調査場所 (1) 場所 矢部有林の林小班 (2) 樹種 スギ・ヒノキ 2.24ha (3) 林地方位 北西 (4) 林地傾斜 20° (5) 100% 本数 127本 250m (6) 林齢 79年 2. 調査期間 (1) 平成2年1月16日 ~ 3月29日 3. 伐倒方向等 (1) 伐倒方向 上向き・横向き・下向き (2) 枝付別 100%・50%・穂付き (3) プロット本数 5本 (4) プロット数 9ヶ所						
	事業費(技術開発) _____ 千円	事業費(技術開発) _____ 千円					

試験経過記録(その1)

(様式 4)

7/11/11 上
下
矢野 宮林署

課 題

翼切り材生産について

1. はじめに

翼切り葉枯による水分含有率の低下による
集材工程の向上及び製材場の品質向上と安定
供給をはかることを試みる。

2. 試験地設定

(1) 昭和63年度 (73年)

ア 場所 既設林内 大畠 13.1. 既設林内 583

イ 樹種 スギ、ヒキ スギ、ヒキ スギ、ヒキ

ウ 林地方向 北西 南 北

エ 林地傾斜 38° 18° 39°

オ 調査本数 1320 1250 1210

カ 調査林積 385m³ 420m³ 415m³

キ 伐倒日 元. 1. 16 63. 12. 27 63. 12. 26

(2) 設定方法

ア 伐倒方向 (上向き横向き下向き)

イ 投付率別 (100%、50%、種付き)

ウ 樹種別 (スギ、ヒキ)

エ 設定本数 1ポット 5本

オ 設定ポット数 5ヶ所

3. 調査結果

(1) 水分含有率 場所 既設林内 43% 樹種 スギ 投付率 100% 伐倒日 元. 1. 16

調査日	調査本No 伐倒方向	1		2		3		4		5	
		上	横下	上	横下	上	横下	上	横下	上	横下
元. 1. 17		135	135	130	148	149	139	145	143	138	136
元. 1. 27		125	126	120	125	130	128	135	128	125	135
元. 2. 8		86	78	105	92	85	81	80	82	108	92
元. 2. 20		65	62	75	76	59	67	61	59	72	60
元. 3. 10		38	35	55	37	39	56	36	37	58	38
元. 3. 28		25	32	48	35	38	51	35	35	49	35
元. 4. 11		28	30	45	30	35	48	32	32	46	33

(2) 水分含有率 場所 大畠 13.1. 樹種 スギ 投付率 100% 伐倒日 63. 12. 27

調査日	調査本No 伐倒方向	1		2		3		4		5	
		上	横下	上	横下	上	横下	上	横下	上	横下
63. 12. 27		126	120	122	127	118	120	130	126	123	121
元. 1. 6		96	94	103	88	91	108	102	105	109	98
元. 1. 17		68	65	75	72	70	79	71	70	78	75
元. 1. 27		46	42	55	49	52	55	49	48	51	60
元. 2. 6		42	39	44	41	40	46	38	39	50	39
元. 2. 16		33	32	42	34	35	42	32	34	45	34
元. 2. 27		32	30	41	31	33	40	31	32	43	32
元. 3. 8		31	28	39	30	31	38	29	29	41	30
元. 3. 17		29	26	38	28	29	36	26	27	39	28

試験経過記録(その2)

大野 三林著

(様式 4)

(3) 水分含有率

場沢、大野山13W、樹種、ヒキ 授付率100% 伐倒日、12.26

調査日	樹種NO	1		2		3		4		5	
		上	下	上	下	上	下	上	下	上	下
63. 12. 27		125	114	112	108	105	109	118	121	108	109
元. 1. 6		92	93	99	91	86	92	89	96	92	83
元. 1. 17		72	68	81	69	73	80	69	71	85	71
元. 1. 27		45	42	50	39	41	55	38	40	55	39
元. 2. 6		37	36	45	37	38	48	36	37	48	35
元. 2. 16		36	34	44	35	35	46	34	34	45	32
元. 2. 27		32	32	40	34	34	42	32	30	42	30
元. 3. 9		30	31	38	32	33	40	31	28	39	28
元. 3. 17		29	28	37	31	32	38	27	25	36	26

(4) 水分含有率

場沢、目丸内係58号 樹種、ヒキ 授付率100% 伐倒日、12.6

調査日	樹種NO	1		2		3		4		5	
		上	下	上	下	上	下	上	下	上	下
63. 12. 7		148	152	151	145	142	138	141	150	138	154
63. 12. 19		121	131	135	125	131	121	122	136	115	128
63. 12. 27		86	78	92	83	92	106	87	85	96	87
元. 1. 6		62	58	68	56	58	69	56	62	72	48
元. 1. 17		42	45	46	47	45	46	39	41	48	39
元. 1. 27		32	33	42	36	35	42	33	36	42	35
元. 2. 6		26	22	37	28	29	36	28	29	37	29
元. 2. 16		24	25	34	26	26	30	24	25	31	27
元. 2. 27		23	26	33	25	25	29	23	23	30	26
元. 3. 9		23	25	32	25	24	28	22	22	28	26

(5) 水分含有率

場沢、大野山13W、樹種、ヒキ 授付率100% 伐倒日、12.16

調査日	樹種NO	100%		50%		授付率	
		上	下	上	下	上	下
元. 12. 1. 16		115	118	122	121	108	121
元. 1. 26		94	93	98	97	93	106
元. 2. 5		76	72	86	78	80	90
元. 2. 15		47	48	51	47	49	52
元. 2. 26		36	35	46	37	39	47
元. 2. 3. 6		28	30	42	32	34	45
元. 2. 3. 19		26	27	40	28	30	42
元. 2. 3. 29		24	25	38	25	26	38

割率は170-175本の平均

- 記載要領 1 調査結果及び考察を記入する。
2 状況写真は別途整理する。

(様式 4)

試験経過記録(その2)

矢部

営林署

(6) 作業工程調査 取次43と林小班

集材作業 平均1本当立木材積 $0.292m^3$ 樹種 スギ

区分	寒 切 り 材				生 材				備 考
	品 荷		先山～盤台 距離	品 荷		先山～盤台 距離			
	本 数	材 積		本 数	材 積				
1 回目	7	2.16	600 m	5	1.33	600 m	(1) 枚付をくついでる(適切) 生材とも100%で調査 (2) 作業人員は8名 $\frac{42 - 35}{35} \times 100 =$		
2	1	1.81		3	3.38				
3	4	4.02		2	2.26				
4	2	3.37		4	2.80				
5	5	1.84		6	3.59				
6	4	3.29		4	2.48				
7	5	2.69		5	2.97				
8	4	3.85		4	2.58				
9	2	2.76		3	2.50				
10	4	2.80		6	2.97				
計	38	28.59		36	26.86				
平均	3.8	2.86		3.6	2.69				
当日の集材		回数 15 本数 57 材積 42.00	当日の集材		回数 13 本数 47 材積 35.00				

- 記載要領
1. 調査結果及び考察を記入する。
 2. 状況写真は別途整理する。

試験経過記録(その2)

(様式 4)

矢部 富林署

(17) 作業工程調査 大宮山130林小班

集材作業 平均 1 本当立木材積 $0.336m^3$ 樹種 ヒノキ

区分	寒 切 り 材				生 材				備 考
	品 荷		先山～盤台 距離		品 荷		先山～盤台 距離		
	本 数	材 積			本 数	材 積			
集材									
1 回目	5	2.70	300 m		4	1.80	300 m		(1) 枝付きノコギリは 寒切り 生材40/100%で調査 (2) 作業人員 8人
2	5	3.20			6	2.60			
3	4	2.10			5	2.00			
4	5	2.50			4	2.20			
5	3	1.80			3	1.70			
6	6	2.50			6	2.30			
7	4	2.10			5	2.10			
8	5	2.00			3	1.90			
9	6	2.80			5	2.50			
10	4	1.60			4	2.20			
計	47	23.30			45	21.30			
平均	4.7	1.37			4.5	1.33			
当日の集材		回数 21 本数 100 材積 29.00	当日の集材		回数 18 本数 45 材積 24.00				

$$\frac{5}{24} = 21\%$$

$$\frac{5}{24} = 21\%$$

- 記載要領
- 1 調査結果及び考察を記入する。
 - 2 状況写真は別途整理する。

試験経過記録(その2)

(様式 4)

矢部 営林署

(8)

寒切り(葉枯し)材生産販売実績調査表

矢部 営林署

直 轄 区 分	事業所	班	林小班	樹種	林 令	葉枯し 方法	葉枯し実施期間			数量 m ³	販売 方法	販 売 比 較						備考		
							期 間	数量	葉枯し材 (A)			普通材 (B)			単価差 (A)-(B)					
									月			日	数量	円		数量	円			
														単価			販売額		単価	販売額
直	大宮山	1	1311	スギ	8/	全部材	63 元	12~3	120	435	386	32620	12591	542	31678	17169	9422	6		
	〃	1	〃	ヒキ	8/	〃	〃	〃	207	〃	204	62282	12720	214	46082	9867	16200	35		
	内大庄	1	432	スギ	67	〃	〃	〃	734	〃	677	35223	23880	504	23963	12066	11320	47		
	〃	1	〃	ヒキ	67	〃	〃	〃	20	〃	13	56644	765	25	51561	1289	5083	10		
請	署		583	スギ	56	〃	〃	〃	129	〃	150	20594	3089	7	16188	117	4406	27		
	〃		583	ヒキ	56	〃	〃	〃	225	〃	183	46069	8432	110	45761	5034	3080	1		
				スギ							1213	32613	29560	1053	27875	29352	4738	17%		
				ヒキ							400	54723	21917	349	46390	16190	8403	18%		
計											1613	38113	61477	1402	32484	45542	5628			

記載要領 1 調査結果及び考察を記入する。
2 状況写真は別途整理する。

試験経過記録(その2)

(様式 4)

矢部

営林署

(9) 製材品の水分含量と品質調査

生産場所 大宮山ノ311 (調査日 元 5.25)

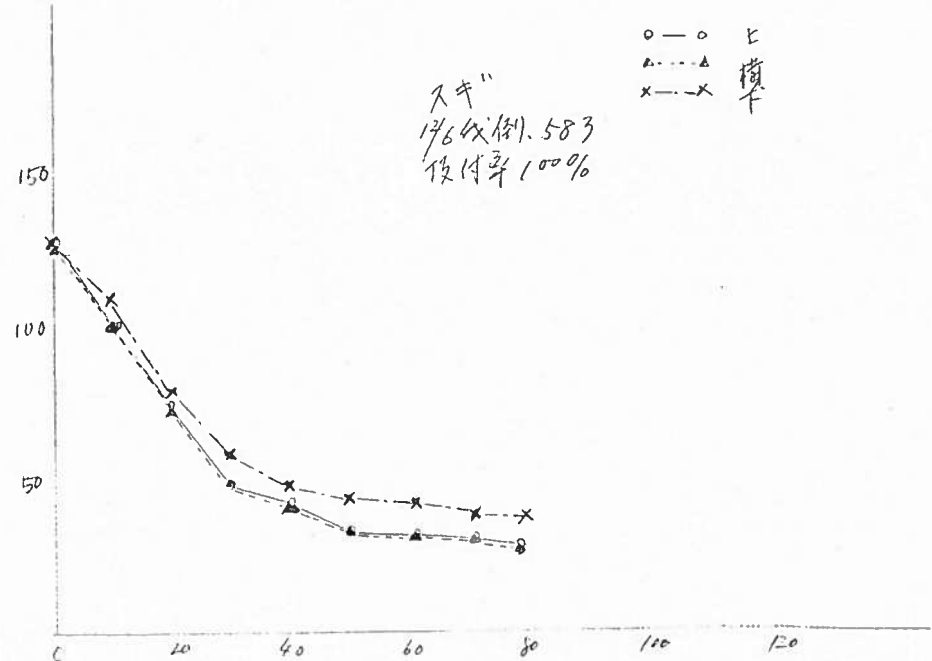
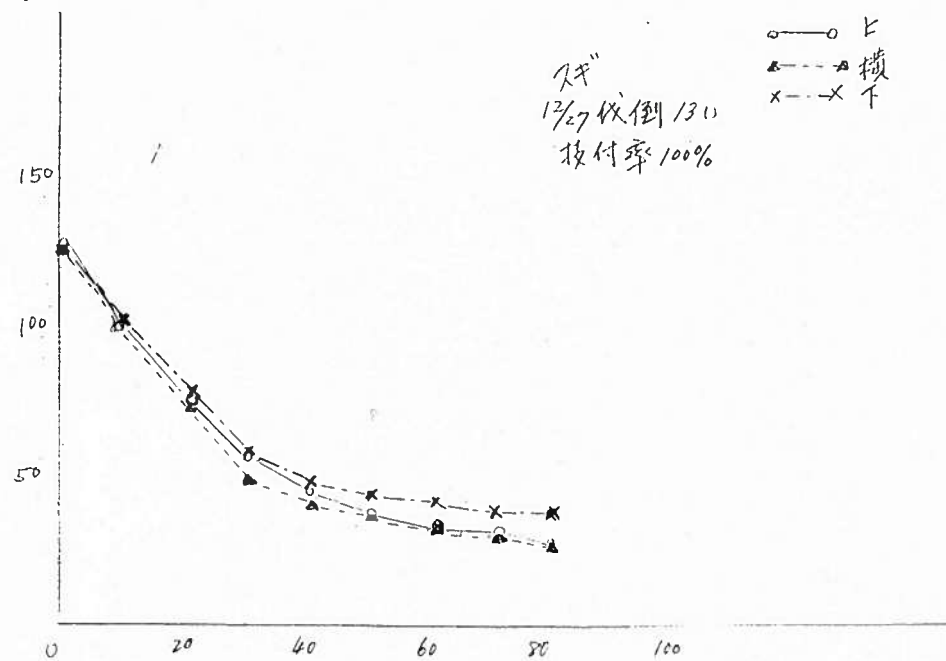
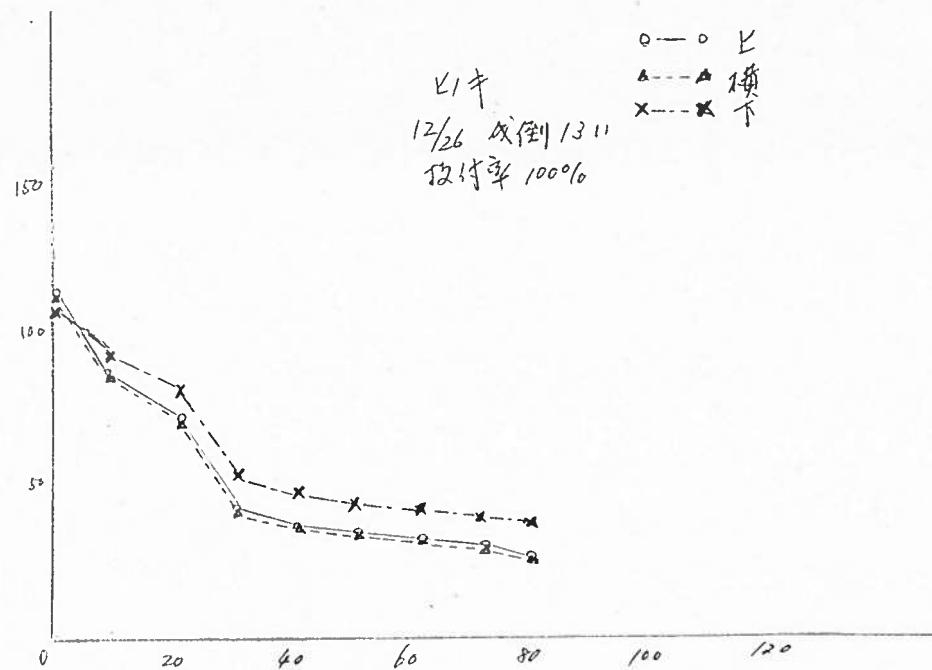
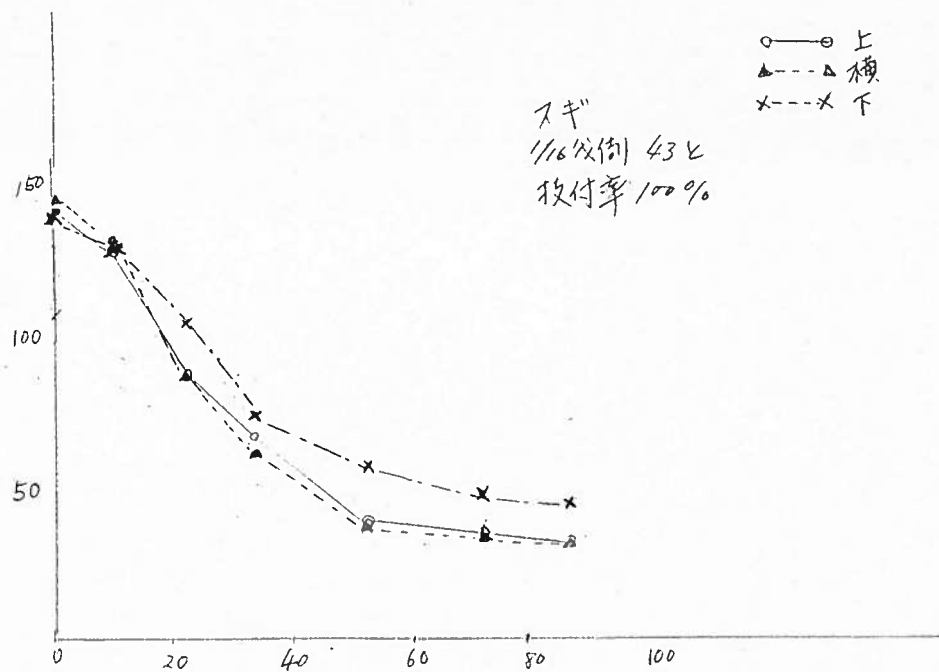
樹種	区分	製切り材	生 材
スギ製材品		22%	62
ヒノキ製材品		23	58

(ア) 製材品は最終工場に生産され、公売
と成るのを、生産終了から製材から45日
経過している。

4. 考察

製切り材生産により、品質向上と
生産、販売のメリットが得られた。

- 記載要領
1. 調査結果及び考察を記入する。
 2. 状況写真は別途整理する。



別紙

葉枯し

寒切り材に関する調査事項

1. 実行方法(直, 請)別の生産量	直営 請負 計 1,874 m
2. 調査事項 (1) 含水率調査 ア. 山床での試験木の含水率測定	別紙のとおり
イ. 貯木場, 土場での同測定	〃
ウ. 製材品の含水率調査	—
(2) 材質調査 ア. 材色調査 ① 山床での試験木の材色調査	良好
② 土場での試験木の材色調査	良好
イ. 樹皮調査(土場)	良好
ウ. 虫害調査 ① 山床	なし
② 土場	なし

注: 箇所ごとに別葉とする。

H1

高仁田 8.11 人吉 宮林署 小班
おは川内筋 423 林班

1. 試験木片材色調査	不実行
(3) 作業工程調査 ア. 集材(寒切り材と生材の比較)	不実行
イ. トラック運材(〃)	別紙のとおり
(4) 販売状況調査 (寒切り材と生材の比較) 葉枯し	別紙のとおり
(5) 製材製品の調査 ア. 製材品	寒切り材に同じ
イ. 買受者の評価	〃

平成元年度 (1) 〔含永辛調査〕 葉枯し材

人吉営林署

事業所	班	場所	樹種	番号	伐倒時 材1回 (元.9.26)	山床 材2回 (元.10.18)	出材時 材3回 (元.10.30)
人吉中二	2	物次川内筋433	スギ	1	128.4	66.2	39.5
				2	130.2	68.1	44.2
				3	131.1	64.5	51.1
				4	122.4	59.0	36.9
				5	120.5	60.2	39.0
				平均	126.5	63.6	42.1
					(元.9.15.)	(元.10.13)	(元.10.20)
人吉中一	2	高仁田 8.1	ヒキ	1	98.4	48.6	34.1
				2	102.1	45.0	31.5
				3	129.2	51.4	33.2
				4	108.3	47.1	33.1
				5	102.3	54.2	37.5
				平均	108.1	49.3	33.9

平成元年度 (3) トラック (重量調査表) 葉枯し材

人吉管林署

事業所	班	場所	樹種	葉枯し材				生材				比率
				番号	材積 m ³	重量 ton	m ³ 当	番号	材積 m ³	重量 ton	m ³ 当	
人吉中二	2	出水川内筋433	スギ	1	8.613	2.800		1	8.617	2.134		
				2	8.609	2.908		2	8.613	2.064		
				3	8.850	2.611		3	2.602	2.876		
				計	27.072	22.319	861	計	24.832	26.074	1.050	82%
人吉一	2	高仁田 8.1	ヒキ	1	2.089	2.330		1	6.595	6.680		
				2	8.637	6.890		2	6.549	6.521		
				3	8.539	6.910		3	9.030	9.039		
				計	26.265	21.130	804	計	22.174	22.240	1.003	80%

(4)

~~葉切り~~ (葉枯し) 材生産販売実績調査表

人吉 営林署

直請 区分	事業所	班	林小班	樹種	林令	葉枯し 方法	葉枯し実施期間		数量 m ³	販 売 比 較							備考
							期間 月 月 日 数	販売 方法		葉枯し材 (A)			普通材 (B)			単価差 (A) - (B)	
										数量	単価	販売額	数量	単価	販売額		
直	人吉第一	2	8い	スギ	59	葉枯し (穂つき)	元 9.15 ～元 10.20	35		委託	1,655	62.515	103,463				
				ヒキ	"	(")	"	"		"	57,555	103.567	5,960,789				
				計							59,210	102.419	6,064,252				
"	人吉第二	2	433	ヒキ	59	(")	元 9.26 ～元 10.30	34		"	65,207	87.301	5,692,658				
				計													
請	人吉第二		46と	スギ	60	(")	元 9.15 ～元 10.16	31		"	94,336	29.520	2,784,802				
				ヒキ	"	(")	"	"		"	210,548	85.413	17,983,476				
				計							304,884	68.119	20,768,278				
"	山江担		85と	ヒキ	75	(")	元 9.20 ～元 11.3	44		"	296,595	68.799	20,405,481				
				計													

- (注) 1. 葉枯し方法欄は枝条を全部残す、枝条を半分残す、穂つき等を記入する。
2. 葉枯し期間は伐倒の日から集造材の日までとする。
3. 販売方法は、山元公売、最終公売、委託販売等とする。
4. 葉枯し材の内、一般材として販売したものは、葉枯し材の欄に () 外書とする。＜推定で可＞

(4)

~~森切~~ (葉枯し) 材生産販売実績調査表

人吉営林署

直轄 区分	事業所	班	林小班	樹種	林 令	葉枯し 方法	葉枯し実施期間		数量 m	販 売 比 較						備考		
							期間 月 月 日 数	販売 方法		葉枯し材 (A)			普通材 (B)				単価差 (A)-(B)	
										数量	単価	販売額	数量	単価	販売額			
				{ 委託						委託	95,991	30.089	2,888,265	120,361	26,989	3,248,433	3,100	
										"	629,905	77,444	50,042,404	274,050	67,550	18,512,085	11,894	
										"	725,896	72,918	52,930,669	394,411	55,172	21,760,518	—	
				{ 最終		葉枯し (穂つき)	元 9.15 ~ 元 10.30	45		最終	569,005	30.152	17,156,837	108,902	23,440	25,526,980	6,712	
							"	"		"	379,652	106,327	40,346,152	522,825	70,246	36,726,876	36,081	
										"	948,457	60,628	57,502,989	1,611,259	38,623	62,253,856	—	
				{ 合計						委託 最終	664,996	30.143	20,045,102	1,209,085	28,793	28,775,413	6,350	
										"	1,009,357	89,551	90,388,556	796,885	69,319	54,238,961	20,232	
										"	1,674,353	65,956	112,433,658	2,006,270	41,876	84,014,874	—	
				総計														

(注) 1. 葉枯し方法欄は枝条を全部残す, 枝条を半分残す, 穂つき等を記入する。

2. 葉枯し期間は伐倒の日から集造材の日までとする。

3. 販売方法は, 山元公売, 最終公売, 委託販売等とする。

4. 葉枯し材の内, 一般材として販売したものは, 葉枯し材の欄に () 外書とする。 <推定で可>

別紙 寒切り材に関する調査事項

1. 実行方法(直, 請)別の生産量	直営 398 m 請負 1 m 計 399 m
2. 調査事項 (1) 含水率調査 ア. 山床での試験木の含水率測定	別紙のとおり
イ. 貯木場, 土場での同測定	別紙のとおり
ウ. 製材品の含水率調査	スギ, ヒノキ等 35~40%
(2) 材質調査 ア. 材色調査 ① 山床での試験木の材色調査	良好
② 土場での試験木の材色調査	良好
イ. 樹皮調査(土場)	樹皮は剥けず割れも生じない。
ウ. 虫害調査 ① 山床	なし
② 土場	〃

注: 箇所ごとに別案とする。

高仁田 人吉 林班 宮林署
〃 〃 〃 〃

1. 試験木片材色調査	不実行
(3) 作業工程調査 ア. 集材(寒切り材と生材の比較)	不実行
イ. トラック運材(〃)	〃
(4) 販売状況調査 (寒切り材と生材の比較)	別紙のとおり
(5) 製材製品の調査 ア. 製材品	別紙のとおり
イ. 買受者の評価	〃

別紙 寒切り材に関する調査事項

1. 実行方法(直、鑿)別の生産量	直営 請負 計 426 m — m 426 m
2. 調査事項 (1) 含水率調査 ア. 山床での試験木の含水率測定	別紙のとおり
イ. 貯木場、土場での同測定	別紙のとおり
ウ. 製材品の含水率調査	スキ. ヒキ共 25 ~ 40%
(2) 材質調査 ア. 材色調査 ① 山床での試験木の材色調査	良好
② 土場での試験木の材色調査	良好
イ. 樹皮調査(土場)	樹皮は剥げず割れも生じない
ウ. 虫害調査 ① 山床	なし
② 土場	なし

注: 箇所ごとに別表とする。

出川大川内筋 426 林班 3 宮林署 小班

1. 試験木片材色調査	不実行
(3) 作業工程調査 ア. 集材(寒切り材と生材の比較)	不実行
イ. トラック運材()	〃
(4) 販売状況調査 (寒切り材と生材の比較)	別紙のとおり
(5) 製材製品の調査 ア. 製材品	別紙のとおり
イ. 買受者の評価	〃

別紙 寒切り材に関する調査事項

1. 実行方法(直, 諸)別の生産量	直営 請負 計 — m 527 m 527 m
2. 調査事項 (1) 含水率調査 ア. 山床での試験木の含水率測定	別紙のとおり
イ. 貯木場, 土場での同測定	別紙のとおり
ウ. 製材品の含水率調査	スキ, ヒキモ 55~60%
(2) 材質調査 ア. 材色調査 ① 山床での試験木の材色調査	良好
② 土場での試験木の材色調査	良好
イ. 樹皮調査(土場)	樹皮は剥がず割れも生じない。
ウ. 虫害調査 ① 山床	期間が長く、暖冬であったので 少々樹皮並みに白太の部分に 発生した。
② 土場	

注: 箇所ごとに別表とする。

白波 7 人言 宮林署
林班 ほ 小班

1. 試験木片材色調査	不実行
(3) 作業工程調査 ア. 集材(寒切り材と生材の比較)	不実行
イ. トラック運材()	ク
(4) 販売状況調査 (寒切り材と生材の比較)	別紙のとおり
(5) 製材製品の調査 ア. 製材品	別紙のとおり
イ. 買受者の評価	ク

(1) 含水率調査

(ア)

(イ)

(ロ) 人吉学林署

事業所	班	場所	樹種	番号	伐倒時	山床	出材時	人吉野木場		久間産業
					才1回	才2回	才3回	丸太調査		製品調査
					(元. 2. 14)	(元. 3. 16)	(元. 4. 13)	樹種	(元. 5. 26)	(元. 6. 7)
人吉才一	2	高仁田 8.	スギ	1	130.0	69.8	44.1	スギ	40.7	スギ, ヒノ
				2	129.2	73.3	39.7		33.2	
				3	135.0	83.0	68.8		32.3	
				4	104.5	79.8	51.2		42.7	
				5	125.4	63.2	36.9		37.2	
"	"	"	ヒノキ	1	130.2	42.9	34.5	ヒノキ	36.2	
				2	107.7	71.7	54.6		46.7	
				3	110.7	63.1	48.6		48.5	
				4	132.6	59.6	32.2		43.7	
				5	112.3	65.5	44.8		39.1	
					(元. 2. 14)	(元. 3. 16)	(元. 4. 13)			
人吉才二	2	出水(大川内筋43)	ヒノキ	1	85.6	59.5	41.2			
				2	88.8	70.1	58.8			
				3	86.7	66.4	47.8			
				4	85.4	50.4	38.8			
				5	89.7	50.3	42.6			

(4) 寒切り (葉枯し) 材生産販売実績調査表

人吉 営林署

直請 区分	事業所	班	林小班	樹種	林令	葉枯し方法	葉枯し実施期間		数量 m	販 売 比 較							備考
							期間 月 月 日数	販売方法		葉枯し材 (A)			普通材 (B)			単価差 (A) - (B)	
										数量	単価	販売額	数量	単価	販売額		
直	人吉第一	又	811	ヒキ	59	(葉切り)穂つき	元. 2. 6. ~ 元. 4. 6	60	36,678	委託	36,678	99,626	3,654,070	—	—	—	
				計													
"	人吉第二	又	403	スギ	59	"	元. 2. 1. ~ 元. 4. 6	65	5,009	委託	5,009	19,334	103,223	—	—	—	
				ヒキ	"	"	"	"	157,150	"	157,150	90,157	14,168,209	—	—	—	
				計					162,489		162,489	87,830	14,271,922				
請	人吉第一		718	ヒキ	76	"	63. 12. 10. ~ 元. 4. 13	125	338,320	委託	338,320	77,347	26,167,972	—	—	—	
				計													
直	野木場			スギ	"	"	63. 12. 10. ~ 元. 4. 13	125	163,930	最終	163,930	40,300	6,606,420	639,711	31,561	20,190,068	8,739
				ヒキ	"	"	"	"	649,248	"	649,248	95,543	62,031,393	524,076	91,477	47,940,918	4066
				計					812,178		812,178	84,407	68,637,813	1,163,787	53,542	68,170,986	—

- (注) 1. 葉枯し方法欄は枝条を全部残す, 枝条を半分残す, 穂つき等を記入する。
2. 葉枯し期間は伐倒の日から集造材の日までとする。
3. 販売方法は, 山元公売, 最終公売, 委託販売等とする。
4. 葉枯し材の内, 一般材として販売したものは, 葉枯し材の欄に () 外番とする。 <推定で可>

(4) 寒切り (葉枯し) 材生産販売実績調査表

人吉 営林署

直請 区分	事業所	班	林小班	樹種	林令	葉枯し 方法	葉枯し実施期間		数量 m	販売比較						備考	
							期間 月 日 日数	販売 方法		葉枯し材 (A)			普通材 (B)				単価差 (A) - (B)
										数量	単価	販売額	数量	単価	販売額		
				合計					1,350.665		1,350.665	83,464	112,731,287				
									再掲	委託	537.487	82,036	44,088,474				
									再掲	最終	813.178	84,407	68,687,813				
										計	1,350.665	83,464	112,731,287				
									再掲	ス式	189.249	39,639	6,709,643				
										ヒキ	1,181.396	89,743	106,021,644				
										計	1,350.665	83,464	112,731,287				

- (注)
1. 葉枯し方法欄は枝条を全部残す, 枝条を半分残す, 穂つき等を記入する。
 2. 葉枯し期間は伐倒の日から集造材の日までとする。
 3. 販売方法は, 山元公売, 最終公売, 委託販売等とする。
 4. 葉枯し材の内, 一般材として販売したものは, 葉枯し材の欄に () 外書とする。＜推定で可＞

(5) 製材製品の調査

人吉営林署

1. 製材品

1. 梅雨期にも出荷可能である。

2. 割れが少ない。

3. 蒸れない。

4. カビが付きにくい。

5. 製品が傷まない。

2. 買受者の評価

1. 軽くて取り扱いが容易である。

2. 保存がきくので在庫調整用として利用できる。

3. 寒切り材は乾燥材のため、すぐ販売ができる。

4. 建築業者からは狂いが少ないため好まれる。

5. 木材乾燥機使用の場合、一般材に比較して、1.5日程度短縮される。

6. 製品価格に差はないが信用を得ることが出来る。

寒切り材 (高仁恩 国有林 8い 林小理)



全 景

伐倒時



全 景



ス 中



ヒノキ